

代表者からのご挨拶：MM2Hの最新事情、弊社対応

1. MM2H 最新事情)

マレーシア政府より、マレーシア・マイセカンドホーム・プログラム（MM2H）の申請を7月1日より一時的に停止すると6月29日にいきなり発表がありました。更に、2019年後半以降に受理した申請者を6月25日以降、ほぼ全員一方的に拒否を始めました。拒否の書面には、理由は一切触れず、陳情も一切認めないとなっております。

この様な変更や拒否は弊社含めた MM2H 代理店は事前に全く知らされておらず、既に弊社経由で申請をされた申請者様は皆 MM2H センターが定めた条件を満たしておりますので、拒否される理由も見当たりません。今まで弊社経由で申請した方は殆ど 100%の確率で MM2H ビザを取得して参りましたので、今回の突然の拒否は弊社も全く理解出来ません。

マレーシアのコロナ問題で3月18日から厳しいロックダウン状態に入り、MM2H センターも閉鎖され、コロナが収束をし出した5月13日より再開しました。ロックダウンの間も新規申請は受付はしておりましたので、7月1日からの新規申請の突然の停止は青天の霹靂となっております。

7月2日の現観光大臣の会見では、「MM2H はマレーシアに取り大変重要でメリット多いシステムなので、廃止はしない。プログラム内容と審査プロセスの改善の為、一時的に申請受付を停止し、今年の12月までには再開する方針である」述べています。

2. 変更の背景)

マレーシアは今年の2月後半にマハティール首相の辞任、政権交代、更にムヒディン新首相の就任と言う大きな政変がありました。MM2H を管轄する観光省、移民局（内務省）のトップ（大臣）も皆入れ替わりとなりました。今回の MM2H に関する大きな変更は新しい観光大臣によって6月29日に発表されています。新しい大臣が今までの経緯等を理解せず、一方的な判断で突然の変更を発表したとしか考えられない状況です。

3. 代理店組合や弊社対応)

1) マレーシアに 100 社を超える MM2H 正規代理店があり、代理店組合として直ち記者会見し、今回の変更による諸問題、申請者に与える甚大な影響と迷惑を政府に訴えました。
2) その後も代理店組合は、観光大臣、国会議員等に様々な働き掛けを続けております。
3) 弊社主導で日系 MM2H 業者 4 社で陳情書を作成し、7月14日に在マレーシア日本大使館、岡大使宛にそれを提出致しました。大使館も本問題の深刻さ、甚大な影響は認識しており、既にマレーシア政府の関係先に交渉をし始めております。

4. 陳情の内容)

MM2H 代理店組合としては、以下の内容で政府に交渉を続けております。

- 1) 申請拒否をした理由を連絡して欲しい。
- 2) 正当な理由がある場合は、以前の様に陳情を認めて欲しい
- 3) MM2H の新規受付は今まで通り継続して欲しい

5. 弊社見解)

マレーシアは日本と違い、政府の政策変更で事前に業界関係者と打ち合わせしたり、意見調整する習慣がありません。まず政策変更を発表し、深刻な反論や問題が出て来場合、出した政策を後から変更するという事が良くあります。今回の変更もその様な可能性があるかと思われま

更に観光大臣が公言している通り、現状では MM2H を廃止するのでは無く、年末までに内容を改善して再開すると思われま

以上を踏まえて、以下が MM2H 各段階に置けるお客様毎の弊社提案となります。

1) これから MM2H 申請を考える皆様：

今後のマレーシア政府の反応を見るしかありません。今年の 12 月までには何らかの正式は方向性が出される見込みです。

2) 既に MM2H を申請し審査を待っている方、又は拒否されてしまった方：

こちらも現在代理店組合や日本大使館が行っている交渉を見ながらマレーシア政府の反応を見るしか無いと思いま

3) 既に MM2H の仮許可が出て現地でのビザ発給を待っている方：

こちらはマレーシアへ入国が認められる様になれば進める事が可能で、9 月 1 日より入国が認められる様になる見通しです。最新情報によりますと今の「一部活動制限令 (RMCO) が明ける 9 月 1 日から 6 ヶ月以内 (2021 年 2 月末まで) にビザ発給を受ける事」と言う移民局内部情報があります。仮許可を既に受け取った方は、早めに現地での発給手続きを準備される事をお勧め致しま

4) MM2H を既に取得している方のパスポート更新、ビザ更新：此方は移民局で進める事が出来ます。MM2H 保有者は今でも入国は出来ますが、日本でマレーシア大使館から入局許可を取る、PCR 検査で陰性を証明、マレーシア入国して 14 日間のホテルでの隔離等の手続きがあります。

上記 1) ~ 4) の条件は今後もコロナの感染状況、政府の政策変更等により変更の可能性があるので、ご了承下さい。

マレーシア政府の方向性がはっきりしない中で、困惑する方も多いかと思いま

より詳細は弊社東京オフィス又はクアラルンプール本社の MM2H 担当者までお問合せ頂きます様お願い申し上げます。

(株) コスモス・プラン / Tropical Resort Lifestyle (MM2H) Sdn. Bhd.
代表 石原 彰太郎

石原彰太郎

